

こんな感染対策は見直しが必要！

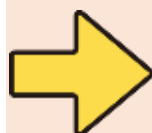
～感染性胃腸炎～

施設で感染性胃腸炎が流行しているときは感染対策を見直すチャンスです！

1 手洗い



トイレやオムツ交換の後に手洗いをしていない



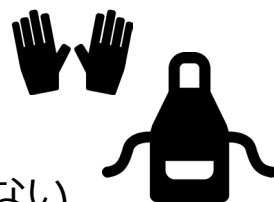
石けんを使って必ず手を洗いましょう
職員だけでなく園児の手洗いも徹底しましょう
※目安は30秒間のこすり洗いです

2 オムツ交換



オムツ交換やおう吐物処理を素手でやっている

オムツ交換台やシートの使用後、消毒をしていない



流行時は使い捨てエプロンと手袋を着用しましょう
園児一人のオムツ交換をする度に消毒しましょう
シートや台（イスなど）は使い捨てや消毒しやすいもの
を使いましょう

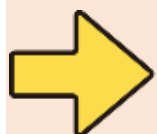
3 消毒



アルコール消毒を行う、水拭きのみで清掃する

節約のために不適切な濃度の消毒薬を使っている

1週間分をまとめて消毒薬を作り置きしている



消毒薬は毎日都度調製し、作り置きはやめましょう
※有効期限切れのものや、作り置きした消毒薬は効果が弱まります
次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう
※アルコール消毒は、ノロウイルスへの効果がほぼありません
正しい濃度で消毒薬を使用しましょう